

早期卒業の認定基準

【情報社会学科】

3年間で124単位以上修得し、下記の要件をすべて満たすこと。

1. 通常の卒業要件（教養科目 50 単位以上・専門科目 74 単位以上）をすべて満たしていること。
2. 基礎演習Ⅰ・Ⅱ，情報社会基礎演習Ⅰ・Ⅱ，情報社会一般演習Ⅰ・Ⅱ，及び情報社会総合演習Ⅰ・Ⅱのすべてに「優」の評価を得ること。
3. 教養科目のうち、英語及び情報に関わる科目（基礎英語，英語，オーラルイングリッシュA・B，情報学概論，コンピュータ概論Ⅰ・Ⅱ）のすべてに「優」の評価を得ること。
4. 履修したすべての科目のうち、「優」の評価が110単位以上で「可」の評価がないこと。
5. 2年次終了までに88単位以上（教養科目50単位以上，専門科目38単位以上）を修得していること。
6. 3年次終了までに所属コースの指定科目を30単位以上修得していること。

2年次終了時に、上記認定条件のうち、2から6を3年次終了時点で満たしうると考え、早期卒業を希望するものは、3年次4月の学期開始1週間以内に、情報社会学科科長に早期卒業を希望する旨を文書でもって申し出ることにより、4年次配当の必修科目である情報社会総合演習Ⅰ・Ⅱ及び選択科目の履修が認められる。

【心理学科】

3年間で124単位以上修得し、下記の要件をすべて満たすこと。

1. 通常の卒業要件（教養科目 50 単位以上・専門科目 74 単位以上）をすべて満たしていること。
2. 心理学専門科目のすべてに「優」の評価を得ること。
3. 英語に関わる科目（基礎英語，英語，オーラルイングリッシュA・B）のすべてに「優」の評価を得ること。
4. 教養科目に「可」の評価がないこと。
5. 2年次終了時に、教養科目50単位，専門科目40単位以上を修得していること。

早期卒業を希望するもので、上記認定条件のうち、2から5を2年次終了時に満たしているものは、3年次4月の学期開始1週間以内に、心理学学科科長に早期卒業を希望する旨を文書でもって申し出ることにより、4年次配当の必修科目である総合研究演習Ⅰ・Ⅱ及び選択科目の履修が認められる。

【情報社会学科】

【平成 19 年度以降の入学者に適用】

時 期	修得すべき科目・単位数等	評 価
1 年次 後期末	基礎演習 I・II 基礎英語, 英語 オーラルイングリッシュ A・B 情報学概論 コンピュータ概論 I・II	すべて「優」
	1 年次終了時に 42 単位を修得	
2 年次 後期末	情報社会基礎演習 I・II 英語	すべて「優」
	2 年次終了時に 88 単位 (教養科目 50 単位, 専門科目 38 単位) を修得	
3 年次 開始時	学科長への申請	
3 年次 後期末	情報社会一般演習 I・II 情報社会総合演習 I・II を修得	すべて「優」
	所属コースの指定科目を 30 単位修得 通常の卒業要件をすべて満たす	「優」の科目が 110 単位以上 で「可」の評価がないこと

【心理学科】

時 期	修得すべき科目・単位数等	評 価
1 年次 後期末	基礎演習 I・II 基礎英語, 英語 オーラルイングリッシュ A・B *心理学専門科目	すべて「優」
	*教養科目	「可」の評価がないこと
2 年次 後期末	英語 *心理学専門科目	すべて「優」
	*教養科目 2 年次終了時に 90 単位 (教養科目 50 単位, 専門科目 40 単位) を修得	「可」の評価がないこと
3 年次 開始時	学科長への申請	
3 年次 後期末	*心理学専門科目	すべて「優」
	*教養科目	「可」の評価がないこと
	総合研究演習 I・II を修得 通常の卒業要件をすべて満たす	すべて「優」